

令和3年5月19日

報道機関各位

2021 エネ環地研 成果発表会を開催します

エネルギー・環境・地質研究所が昨年度までに取り組んだ研究開発や技術支援の成果を広く皆様に公開し、ご活用いただくため、次のとおり成果発表会を開催いたします。

今年度は、オンライン開催とし、エゾシカ捕獲をテーマとする特別セッションを含め5つのセッションに分かれての口頭発表、並びにポスター発表（資料掲載）を行います。（詳しくは添付のプログラムをご参照ください。）

◎ 日 時

- ・令和3年5月26日（水）13:00～16:30
- ・令和3年5月27日（木）10:40～16:00

◎ 内 容

- ・Zoomウェビナーを使用したオンライン口頭発表（特別セッション1つ、一般セッション4つ）
- ・ポスター形式資料25件のウェブサイト掲載（5月26日（水）～6月8日（火）の期間）
- ・概要資料については事前にウェブサイトに掲載

◎ 主 催

地方独立行政法人北海道立総合研究機構 産業技術環境研究本部 エネルギー・環境・地質研究所

◎ 申込方法

- ・オンライン口頭発表の視聴を希望される方は、当所ウェブサイトから「事前参加登録」をお願いします。また、ポスター発表及び概要資料は当該ページにリンクを掲載します。
 - URL : <https://www.hro.or.jp/eeg.html>
 - 締め切り : 5月24日（月）
 - 定 員 : 450名 ※定員となり次第、締め切りとさせていただきます。

◎ 報道（取材）に当たってのお願い

- ・取材をされる場合は、下記の担当者までご連絡ください。（オンラインでの参加を希望される場合は、当所ウェブサイトから直接申し込まれるか、お申し出いただければ、当方で参加登録いたします。また、当日、研究所にいらっしゃる場合は会場をご用意いたしますので、その旨お申し出ください。）

詳しくはこちらへお問い合わせください。

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構（道総研）
産業技術環境研究本部 エネルギー・環境・地質研究所 研究推進室 研究情報グループ
（担当者：主査（広報） 羽二生 浩孝）
電話 011-747-2427 ※平日8:45～17:30
Eメール eeg-koho@ml.hro.or.jp

2021 エネ環地研 成果発表会

地域資源を守り・活かす
多彩な取組を紹介！

オンライン形式

エネルギー・環境・地質研究所が昨年度までに取り組んだ研究開発や技術支援の成果を広く皆様に公開し、ご活用いただくため、成果発表会を開催いたします。

今年度は、オンライン開催とし、「エゾシカ捕獲」をテーマとする特別セッションを含め5つのセッションに分かれての口頭発表、並びにポスター発表（資料掲載）を行います。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

2021年

5/26(水)・27(木)

13:00-16:30

10:40-16:00

申込方法

オンライン事前参加登録（定員 450 名）

オンライン口頭発表の視聴を希望される方は、
当所の WEB サイトから事前参加登録をお願いいたします。

申込締切

2021年5月24日（月）

定員となり次第、締め切りとさせていただきます。

詳細

当所の WEB サイト（URL <https://www.hro.or.jp/eeg.html>）をご覧ください。

口頭発表プログラム

【1日目：5/26(水)】

- ・ 13:00～13:15 開会あいさつ・当所の概要紹介（エネルギー・環境・地質研究所 所長 及川 雅稔）
- ・ 13:15～14:50 特別セッション（自然環境部・連携機関）
「なぜ草地適用型「囲いわな」が必要なのか？」（95分）
- ・ 14:50～15:10 休憩
- ・ 15:10～16:30 地域地質部セッション（80分）

【2日目：5/27(木)】

- ・ 10:40～11:40 資源エネルギー部セッション（60分）
- ・ 11:40～13:10 休憩
- ・ 13:10～14:10 循環資源部セッション（60分）
- ・ 14:10～14:30 休憩
- ・ 14:30～15:50 環境保全部セッション（80分）
- ・ 15:50～16:00 閉会あいさつ（エネルギー・環境・地質研究所 副所長 竹澤 祐幸）

ポスター発表内容

- ・ 25 件の研究開発成果をポスター形式資料として取りまとめ、紹介します。
- ・ 2021年5月26日（水）～6月8日（火）に、当所の WEB サイトに資料掲載します。
- ・ 自由に閲覧できますので、ぜひ、ご覧ください。

◆【特別セッション（自然環境部・連携機関）】 5/26(水) 13:15～14:50

- ・ 13:15～13:25 稲富 佳洋：なぜ草地適用型「囲いわな」が必要なのか？
- ・ 13:25～13:40 S01 立木 靖之（酪農学園大学）：いつ・どこで捕獲する？ - 行動データを用いた捕獲草地の選定 -
- ・ 13:40～13:55 S02 近藤 正一（道総研 工業試験場）：どこで捕獲する？ - シカの出没情報を用いた設置場所の決定 -
- ・ 13:55～14:10 S03 稲富 佳洋：どのように捕獲する？ - 草地適用型「囲いわな」の特徴 -
- ・ 14:10～14:25 S04 亀井 利活：捕獲の効果は？ - 牧草被害の把握 -
- ・ 14:25～14:50： **総合討論**

◆【一般セッション】

地域地質部セッション 5/26(水) 15:10～16:30

- ・ 15:10～15:30 O01 廣瀬 亘：地盤ボーリングデータに基づく地盤液化予測の高度化に関する研究
- ・ 15:30～15:50 O02 川上 源太郎：機械学習を用いた土石流危険渓流の抽出
- ・ 15:50～16:10 O03 丸山 純也：海上磁気探査によって沿岸海域の活断層を探る—函館平野西縁断層帯海域延長部を例として—
- ・ 16:10～16:30 O04 檜垣 直幸：沿岸域環境情報の見える化による水産業振興

資源エネルギー部セッション 5/27(木) 10:40～11:40

- ・ 10:40～11:00 O05 田村 慎：ニセコ地域で地熱有望エリアを見つける - 従来型・次世代型地熱資源の利活用促進に向けて -
- ・ 11:00～11:20 O06 藤澤 拓己：工場排熱の活用のための潜熱蓄熱装置の研究
- ・ 11:20～11:40 O07 白土 博康：木質ボイラー利用熱源システムの省エネ設計と実装

循環資源部セッション 5/27(木) 13:10～14:10

- ・ 13:10～13:30 O08 富田 恵一：安定同位体希釈法を用いた高精度な微量分析方法の開発
- ・ 13:30～13:50 O09 稲野 浩行：廃太陽光パネルリサイクルの基礎的検討
- ・ 13:50～14:10 O10 鎌田 樹志：電気分解法を利用した排水の凝集処理システムの開発

環境保全部セッション 5/27(木) 14:30～15:50

- ・ 14:30～14:50 O11 山口 高志：摩周湖の景観は変わったか？昔と今 - 地域資源の持続的な保全 -
- ・ 14:50～15:10 O12 鈴木 啓明：サケ稚魚の放流場所として「潟湖」を活用できるか？ - 潟湖の環境・地形特性に着目して -
- ・ 15:10～15:30 O13 長谷川 祥樹：水環境保全に向けた流域の移り変わりの見える化
- ・ 15:30～15:50 O14 永洞 真一郎：北海道におけるダイオキシン類の排出状況の「見える化」 - まだ終わっていないダイオキシン問題 -

ポスター発表内容

【自然環境部・連携機関】

- ・ P01 稲富 佳洋：電気柵を利用したエゾシカの誘導
- ・ P02 雲野 明（道総研 林業試験場）：エゾシカの牧草種に対する嗜好性
- ・ P03 長 雄一：草地適用型「囲いわな」で捕獲したエゾシカの資源価値
- ・ P04 上野 真由美：アライグマ防除の地域戦略策定に係る評価基準
- ・ P05 山口 沙耶：アライグマによる被害調査手順と電気柵の費用対効果測定手法
- ・ P06 島村 崇志：農村の環境要素とそのつながり
- ・ P07 間野 勉：北海道にヒグマは何頭いるか？

【地域地質部】

- ・ P08 石丸 聡：北海道の緩斜面下に広がる周氷河堆積物の判定に向けた取り組み
- ・ P09 小安 浩理：地震地すべりを引き起こす土層の特徴と生成過程
- ・ P10 輿水 健一：寒冷地域における地震後の崩壊裸地斜面の土砂動態
- ・ P11 高橋 良：北海道内の活動的火山のモニタリングからみた火山活動の現況

【資源エネルギー部】

- ・ P12 林 圭一：札幌西部 - 後志東部地域の地熱資源
- ・ P13 岡 大輔：電磁探査で推定する屈斜路カルデラ南東域の地下構造
- ・ P14 山越 幸康：高灰分バイオマス・廃棄物等の燃料
- ・ P15 富樫 憲一：海岸流木の燃料化に向けた成分分析及び燃焼試験
- ・ P16 林田 淳：高出力蓄電池による再生可能エネルギー発電の低コスト化
- ・ P17 保科 秀夫：温水のカスケード利用に向けた換気予熱用熱交換器の開発

【循環資源部】

- ・ P18 若杉 郷臣：厄介者のホタテの“ウロ”を活用する
- ・ P19 福田 陽一郎：使い終わった太陽電池パネル、どのくらい出てくるの？
- ・ P20 朝倉 賢：廃プラスチックの排出実態を探る

【環境保全部】

- ・ P21 濱原 和広：雪はこれからどう変わる？何が起きる？
- ・ P22 鈴木 啓明：気候変動は道民にどう影響するのか？
- ・ P23 大塚 英幸：木質バイオマスの安心安全なエネルギー利用に向けて
- ・ P24 仮屋 遼：葉が生態系への毒となる？
- ・ P25 姉崎 克典：身近な素材でPCBを測る